

JIS

複層ガラス

JIS R 3209 : 2023

(FGMAJ/JSA)

令和 5 年 4 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	勝 俣 英 雄	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社大林組)
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	興 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式会社)
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	萩 原 伸 治	一般財団法人建材試験センター
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	山 田 剛	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	吉 田 可保里	T&T パートナーズ法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 37.1.1 改正：令和 5.4.20

官 報 掲 載 日：令和 5.4.20

原 案 作 成 者：一般社団法人板硝子協会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1-3-13 NBF 高輪ビル TEL 03-6450-3926)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 清家 剛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	3
5 品質	4
5.1 外観	4
5.2 露点	4
5.3 封入気体のガス濃度	4
5.4 加速耐久性	5
5.5 熱性能	5
6 形状及び寸法	5
6.1 形状	5
6.2 寸法	5
7 材料	6
8 試験	7
8.1 供試体	7
8.2 外観試験	7
8.3 封入気体の露点試験	8
8.4 封入気体のガス濃度測定	9
8.5 封止の加速耐久性試験	9
8.6 光学薄膜付きガラスの薄膜の性能の加速耐久性試験	10
8.7 封入気体のガス密閉性の加速耐久性試験	10
8.8 熱性能の算定	10
8.9 寸法の測定	11
9 検査	13
10 包装	14
11 表示	14
附属書 A (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	15
解 説	18

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、板硝子協会（FGMAJ）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS R 3209:2018** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 6 年 4 月 19 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS R 3209:2018** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

複層ガラス

Insulating glass

1 適用範囲

この規格は、主に建築物及び冷凍・冷蔵ショーケースに使用する複層ガラスについて規定する。ただし、この規格は、中空層が1層又は2層の複層ガラスに適用し、中空層に格子部材などの内蔵物を入れた複層ガラス、及び空気以外の気体同士を混合して中空層に封入した複層ガラスには適用しない。

なお、技術上重要な改正に関する新旧対照表を**附属書 A**に示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS B 7516 金属製直尺

JIS R 3106 板ガラスの透過率・反射率・放射率の試験方法及び建築用板ガラスの日射熱取得率の算定方法

JIS R 3107 建築用板ガラスの熱貫流率の算定方法

JIS R 3202 フロート板ガラス及び磨き板ガラス

JIS R 3203 型板ガラス

JIS R 3204 網入板ガラス及び線入板ガラス

JIS R 3205 合わせガラス

JIS R 3206 強化ガラス

JIS R 3208 熱線吸収板ガラス

JIS R 3221 光学薄膜付きガラス

JIS R 3222 倍強度ガラス

JIS R 3223 耐熱強化ガラス

JIS R 3224-1 建築用ガラス－複層ガラス－第1部：耐候性試験による封止の耐久性試験方法

JIS R 3224-3 建築用ガラス－複層ガラス－第3部：ガス濃度及びガス漏えい性試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方